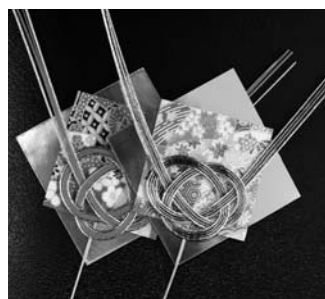


# 年頭のごあいさつ

廿日市市長 眞野 勝弘



市民の皆さま、明けましておめでとございます。

皆さまにおかれましては、平成28年の新春を希望に満ちた清々しい気持ちでお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

旧年中は、市政の推進に格別のご理解とご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

昨年10月18日に行われた、廿日市市長選挙では、市民の皆さまのご支援を賜り、三期目の市政を担わせていただくことになりました。これからも、市民の皆さまの負託に応えるべく、「笑顔と品格のある元気なまちづくり」に全力を尽くしてまいります。

さて、わが国全体の大きな課題となっている人口減少の克服や、地域の活力維持は、本市も例外ではなく、危機感を持って、全市的に取り組んでいかななくてはなりません。

本市では、昨年10月、「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」および「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。総合戦略では、地域経済の活性化、子育て世代の呼び込み、出産・子育ての希望をかなえる環境整備、まちへの愛着の醸成などに取り組むこととしていますが、これらの事業の推進により、2040年の人口10万人を維持したいと考えています。

そのためには、本市が持つ「居住地としての魅力」を市内外に発信する戦略的なシティアプローチ（まちのアピール戦略）を行い、市民をはじめ地域の多様な主体と行政が連携した積極的な取り組みを展開していく必要があります。

人口減少に歯止めをかけることは、一朝一夕にできることではありませんが、こうした取り組みにスピード感を持って進めていくことで、移住者の呼び込みにつなげるとともに、今お住まいの皆さまに、住み続けたいと思っ

ていきたいと考えています。

さて、今年も、4年に一度のオリンピック・イヤーであり、8月のブラジルのリオ・デ・ジャネイロ大会開幕を楽しみにされている方も多いことと思います。このオリンピックへの出場権をかけた、ASTCアジアトライアスロン選手権が4月29日から3日間、本市で開催されます。アジア各国から約1000人の参加者が見込まれ、スポーツ振興、国際交流のみならず、地域の活性化や地域経済への波及効果をもたらすものと期待しています。大会成功のためには、市民や企業の皆さまとの連携が不可欠です。引き続き、ご協力をお願いします。

また、宮島が世界遺産に登録されてから、20周年となることから、世界遺産を守り、後世に伝えていく必要性を再認識するとともに、国内外に向けたプロモーションの実施により、多くのお客さまをお迎えするよう努

めてまいります。

JR沿線に目を向けますと、JR大野浦駅自由通路は、平成28年度末の完成に向け、工事を進めています。一方、JR廿日市駅は、3月末には、南北駅前広場をつなぐ自由通路が完成予定であり、駅舎も橋上化されることにより、南北どちらからも駅の利用が可能となり、利便性が一層向上します。デザインも、「木のまち廿日市」の特性を生かし、市内産の杉材を使った内外装となっており、市の東の玄関口としてふさわしいものになると期待しています。

そして、新年度からは、第6次廿日市総合計画に掲げる本市の将来像「挑戦！豊かさ活力あるまち はつかいち」の実現に向け、まい進してまいります。新しい年が皆さまにとりまして、健康で喜びと幸せに満ち溢れた1年となりますことを心から祈念いたしまして、新年のあいさついたします。

本年も「笑顔と品格のある元気なまちづくり」を進めてまいります

